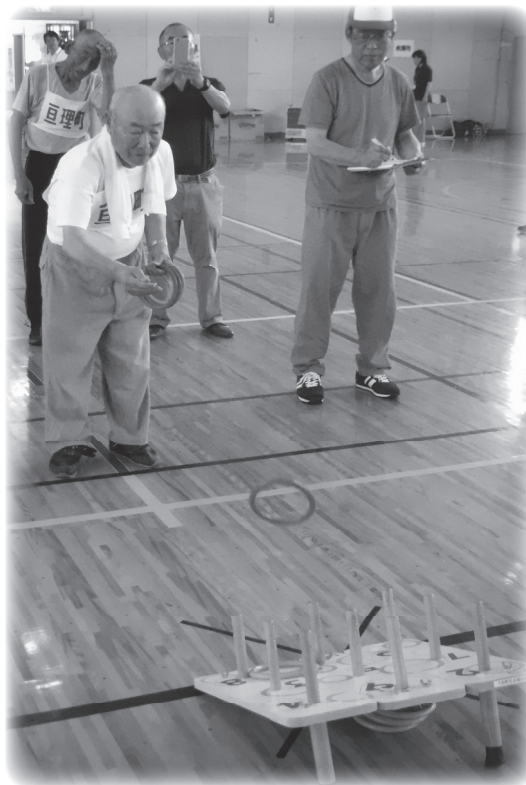


わたり社協だより

社会福祉法人 巨理町社会福祉協議会

巨理町字旧館60-7 TEL 0223-34-7551 FAX 0223-34-7552 文責 社協広報部会

No.115



第25回 宮城県身体障害者仙台地方連絡協議会 体育大会

8月1日(木)に第25回宮城県身体障害者仙台地方連絡協議会体育大会が巨理町佐藤記念体育館で開催されました。

巨理町からは、会員8名が参加し、民生委員児童委員14名には、ボランティアとして競技・運営等でご協力をいただきました。

当日は、非常に暑い日で熱中症等の心配もありましたが、無事に終了することができました。

お手伝いくださった民生委員児童委員の皆さんありがとうございました。

目次

宮城県身体障害者仙台地方連絡協議会体育大会	1
みなさまからの会費を地域福祉のために活用します	2
24時間テレビチャリティー募金額の報告	2
さざんかの会 ふれあい食事サービス	3
キャップハンディ体験	3
家族介護教室・在宅介護者激励会	4
生活支援コーディネーター佐藤寛子の「今 この人に会いたい」	4
ふれあいいきいきサロンあづまっせ	5
さんさんファーム	5
巨理町共同募金委員会からのお知らせ	6
運転ボランティア募集	6



みなさまからの会費を地域福祉のために活用します！

社会福祉協議会では、毎年8月を会費納入月間として、町民のみなさまから普通会費1,000円、特別会費2,000円以上を納入していただいております。

今年も福祉協力員（行政区長）の協力をいただき、8,717,750円の会費を納入していただきました。

この会費は、社会福祉協議会で行われる「高齢者福祉活動」「障がい者福祉活動」「児童青少年活動」「ボランティア活動の推進」などさまざまな地域福祉事業に使わせていただきます。

●●●● ご協力ありがとうございます ●●●●

地区	普通会費		特別会員		計	
	世帯	金額	世帯	金額	世帯	金額
亘理	2,935	2,935,000	104	212,750	3,039	3,147,750
吉田	1,843	1,843,000	73	146,000	1,916	1,989,000
荒浜	648	648,000	11	23,000	659	671,000
逢隈	2,756	2,756,000	77	154,000	2,833	2,910,000
計	8,182	8,182,000	265	535,750	8,447	8,717,750

※令和元年10月15日現在

「あったかい地域づくりを目指して」 会費はこのような事業の一部に使用しています！

高齢者福祉活動

日常生活支援事業（介護保険枠外）、ねたきり高齢者おむつ無償配布、ひとり暮らし高齢者ふれあい食事サービス（さざんかの会）、ひとり暮らし高齢者「愛のヤクルト」訪問サービス、高齢者世帯ふとん丸洗いサービス等

障がい者福祉活動

重度障がい者紙おむつ無償配布、身体障害者体育大会への協力、福祉車両無料貸出サービス（車椅子対応車、助手席リフトアップ車）等

児童青少年活動

福祉に関するポスター・標語募集事業、キャップハンディ体験学習会の開催、家庭支援事業「サンタがうちにやってくる」、小学生入学祝い品贈呈事業、新生児紙おむつ等贈呈事業等

ボランティア活動の推進

ボランティア研修会の開催、ボランティアネットワークの推進、災害ボランティアセンター開設訓練、ニュースポーツの貸出、ボランティアに関する連絡調整等

24時間テレビ42「愛は地球を救う」

「人と人～ともに新しい時代へ～」

募金総額 379,871円

8月24日（土）、25日（日）の2日間、24時間テレビ「愛は地球を救う」チャリティー募金が、ヨークベニマル亘理店を会場に行われました。

当日は、ジュニアリーダーの募金の呼びかけに、数多くの方々に協力をいただきました。

また、貯金箱を持参してくださる方もいました。

みなさまから寄せられた心温まる募金は、総額379,871円になりました。

お年寄りや身体の不自由な方のための福祉車両等の贈呈や支援、災害援助などに使われます。

みなさまのご協力ありがとうございました。



役員の皆様にもボランティアをお願いしています



募金活動を行うジュニアリーダーのみなさん

.....ひとり暮らしのみなさんを応援します.....

さざんかの会 ふれあい食事サービス

70歳以上のひとり暮らしの方を対象に、季節の行事やレクリエーション、手作りの昼食での会食を行っており、通称「さざんかの会」という名称で参加者から親しまれています。

7、8月には、ジュニアリーダー、亘理高校生との交流を行い、元気をいただきました。8月の亘理高校生との交流では来年のオリンピックにちなみ、「オリンピック音頭」を全員で踊りました。浴衣姿の高校生の参加で、会場内も華やかに盛り上がりしました。

参加者全員での太巻き寿司づくりでは、苦戦しつつもそれぞれに味のある太巻きが完成しました。

9月には、柴田町の福祉劇団「鶴亀」のみなさんに、演劇や踊りを披露していただき、笑いの渦に巻き込まれました。また食改さん手作りの「はらこめし」には参加者から歓声が上がっており、いつもは小食だと話す参加者も「完食したよ!」と喜んでいました。



次回予定

11月20日（水）
12月20日（金）
1月28日（火）

B地区（吉田・荒浜・逢隈地区）
A地区（亘理地区）
合同



キャップハンディ体験

ー キャップハンディ体験ってなに？

ハンディ・キャップという言葉を入れ替えた造語で、「その人の立場に立って考える」ことを目的とした体験活動です。

吉田小学校

9月13日（金） 3年生17名（保護者19名）
視覚不自由・車いす体験
（協力：ボランティア点字サークルてん花、
斎藤たみ子さん）

通常のキャップハンディ体験の介助は、友達同士で行うのですが、フリー授業参観の日に実施したため、親子で介助体験をする事ができました。



家族介護教室・在宅介護者激励会

在宅で要介護2以上の方を介護している家族を対象に、情報交換や交流を促し、また日頃の介護疲れを癒していただくことを目的に、第1回目の家族介護教室・在宅介護者激励会が7月19日(金)に開催され、29名の方が参加されました。

前半は介護老人保健施設サニーホームの理学療法士、佐藤大樹氏より「介護者の負担軽減とセルフケア」と題して、介護者にかかる負担を軽減する体勢や腰痛予防の体操などを教えていただきました。

後半は杜のホスピタル・あおばの音楽療法士、渡邊望氏の音楽療法を通して全員で合唱したり、演奏を聞きながらリフレッシュを図っていただきました。

食事をしながらの参加者同士での情報交換では、日々の介護の苦労や悩みなどが話され、有意義な時間となりました。

次回は11月、3回目は2月に開催予定です。
詳細は町広報紙にてご案内しますので、是非ご参加ください。



生活支援コーディネーター
佐藤寛子の『

この人に
今 会いたい!』

高屋
小野定子さん(90歳)

10月で満90歳を迎えた定子さん、上大畑から嫁いで約65年になります。実家も嫁ぎ先も大きな農家で、嫁いでも毎日のように農作業を行ってきました。今は一線を退いているものの、畑作業や草取り、庭木の剪定と自分の体と相談しながらも現役です。

「畑は私の生きがい」と話し、収穫した野菜の一部は町内にある「ともにほま道」で販売をするなど、手塩にかけて育てた野菜を多くの方に食べてほしいと頑張っています。また、今でも老人クラブや地域のサロンに積極的に参加して、人と交流することを大切にしていると教えていただきました。

畑作業は以前のようにはいかないものの、「できる限り続けていきたい」と定子さんは言います。畑も地域との交流も長く続けてほしいです。



みんなであ
づまっせ!

ふれあいいきいきサロン あづまっせ

本会では、サロンを開催している団体や個人に対し助成する事業を行っており、本年度は44団体が登録しています。サロンごとに活動内容や回数はまちまちですが、地域住民相互の「つながり」「見守り」「助け合い」のきっかけができる楽しい「集いの場」として有効な場所になっています。

◎おおくまサロン (逢隈地区)

働く婦人の家で月1回行われている「おおくまサロン」。震災後、逢隈地区に町内外より再建した世帯からの「逢隈地区の一員になりたい」という声をうけ、コミュニティ形成の支援を目的として社協でサロンの立ち上げを行いました。平成29年度6月からは自分達で内容を考えて運営しています。

当初は試行錯誤の連続でしたが、現在は参加者の特技を活かした物づくりや体操・ゲームを行い、会の終了後にはみなさんで昼食を食べに行く程の仲良しグループとなりました。

また、誰でも参加出来る様に、声掛け等を積極的に行い、新しい参加者を受け入れながら仲間づくりを行っている、活気のある笑いの絶えないサロンとなっています。



さんさんファーム

4年目の活動に入ったさんさんファームは、4月から参加者を町内全域に広め活動を行っています。8月には、下茨田南・北城東地区の子ども達と秋に収穫される大根や白菜の植え付け体験を行いました。今回植え付けしたものは11月頃に収穫を行い、一緒に芋煮会を開催する予定になっています。



さんさんファームでは、参加者を募集しています。毎週金曜日9:00~11:00、江下（株式会社佐藤製線所近く）の畑で活動を行っています。さんさんファームの内容を詳しく知りたいなど、お問い合わせは☎34-7551（巨理町社会福祉協議会 担当：佐藤、川端）までご連絡ください。



私たちと一緒に活動しませんか！



日々の活動の様子



亘理町共同募金委員会からのお知らせ

赤い羽根共同募金は、町の子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動に役立てられます。

災害時には、「災害ボランティアセンター」の設置や運営など、被災地支援にも役立てられています。



赤い羽根共同募金運動

令和元年10月1日～令和2年3月31日まで



歳末たすけあい運動

12月1日～12月31日まで

第7弾

「むすび丸ピンバッジ募金」で 宮城の子ども食堂を応援しよう！

今年も「むすび丸ピンバッジ募金」を行います。この募金は製作費を除き、宮城県内で子ども食堂を運営する団体への助成に活用します。11月1日より販売いたします。皆様のご協力をお願い申し上げます。



価格 500円

運転ボランティア 募 集

亘理町社会福祉協議会では、運転ボランティアとしてご協力いただける方を募集しています。何か地域の為にしたいけど、何から始めたらいいのかわからないと悩んでいる方、運転ボランティアとして活動始めてみませんか？ 男女問わず募集中です。活動内容等の詳細は、亘理町社会福祉協議会までお問い合わせください。（☎：34-7551）

あたたかい善意ありがとうございました。

次の方々から寄付をいただきましたのでご紹介します。（令和元年7月16日～令和元年10月15日まで）

匿名希望（東郷）	4,705円
高音寺様（十文字村）	45,274円
株式会社 ライフサポートわたり様	33,700円
JAみやぎ亘理支部 女性部様	3,000円
メガネの相沢 亘理店様	老眼鏡仕立て券 20組
宮城県亘理高等学校 家政科 家庭科クラブ様	巾着袋 82個
みやぎ生協 プリエ案内センター様、刈谷葬儀社様	21,796円
株式会社東和製作所様	7,984円
（株式会社サンベンディング東北設置の自動販売機による寄付）	



メガネの相沢 亘理店様



宮城県亘理高等学校 家政科 家庭科クラブ様

